

橘

橘



菓子



地域資源

歴史
文化

心根

農産物

ものづく
り技術

...

×

= 観光ルート

街道作り

模索の道
(商品開発、
販路開拓)



消費・投資

インバウンド

の活発化

橘やお菓子にまつわる神社・名所と各地のお菓子〈橘街道〉



兵庫県：橘のしずく
(パティスリーアッシュカトウ)



中嶋神社

田道間守命を主祭神とし、天湯河棚神(あめのゆかわたなのかみ)を配祀する。田道間守命は天日槍命の5世の子孫で、『日本書紀』に記される垂仁天皇の命により常世の国から「非時香果(ときじくのかぐのみ)」(橘のこと)を持ち返ったとされる人物である。橘は菓子の最上級品とされたことから、菓子の神・菓祖として崇敬される。
【兵庫県豊岡市】



京都府：福知山のスイーツ



垂仁天皇陵

奈良県奈良市尼辻西町の宝来山古墳(前方後円墳、全長227m)に比定される。現在の宝来山古墳の濠の中、南東に田道間守の墓とされる小島がある。
【奈良県奈良市】



兵庫県：ゴーフル
(神戸風月堂)



奈良県：御城之口餅
(本家菊屋)



兵庫県：フルーツフルロール
(アンテノール)



大阪府：練羊羹
(駿河屋)



廣瀬大社

鎮座地は、高田川と一緒にあった曾我川、大和川・飛鳥川など奈良盆地内を流れる河川のほとんどが合流する地点であり、このことから水神を祭る。社伝では、崇神天皇9年、広瀬の河合の里長・廣瀬臣藤時に託宣があり、水足池と呼ばれる沼地が一夜で陸地に変化し橘が数多く生えたことが天皇に伝わり、その地に大御膳神として社殿を建てて祀ったのに始まるとしている。
【奈良県北葛城郡】



橘本神社

元は現在地の北の「六本樹の丘」に鎮座していた。六本樹の丘は田道間守が常世の国から持ち帰った橘の木を最初に植えた地と伝えられる。創建の年代は不詳であるが、永享9年(1437年)と記された神社の棟札が残っている。



和歌山県：ミカンの紀婦人
(ル・パティシエミキ)



橘寺

奈良県高市郡明日香村にある天台宗の寺院。正式には「仏頭山上宮皇院菩提寺」と称し、本尊は聖徳太子・如意輪観音。橘寺という名は、垂仁天皇の命により不老不死の果物を取りに行った田道間守が持ち帰った橘の実を植えたことに由来する。
【奈良県明日香村】